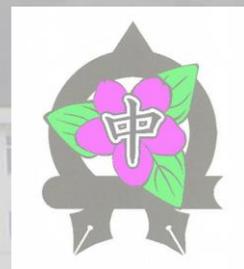

協働

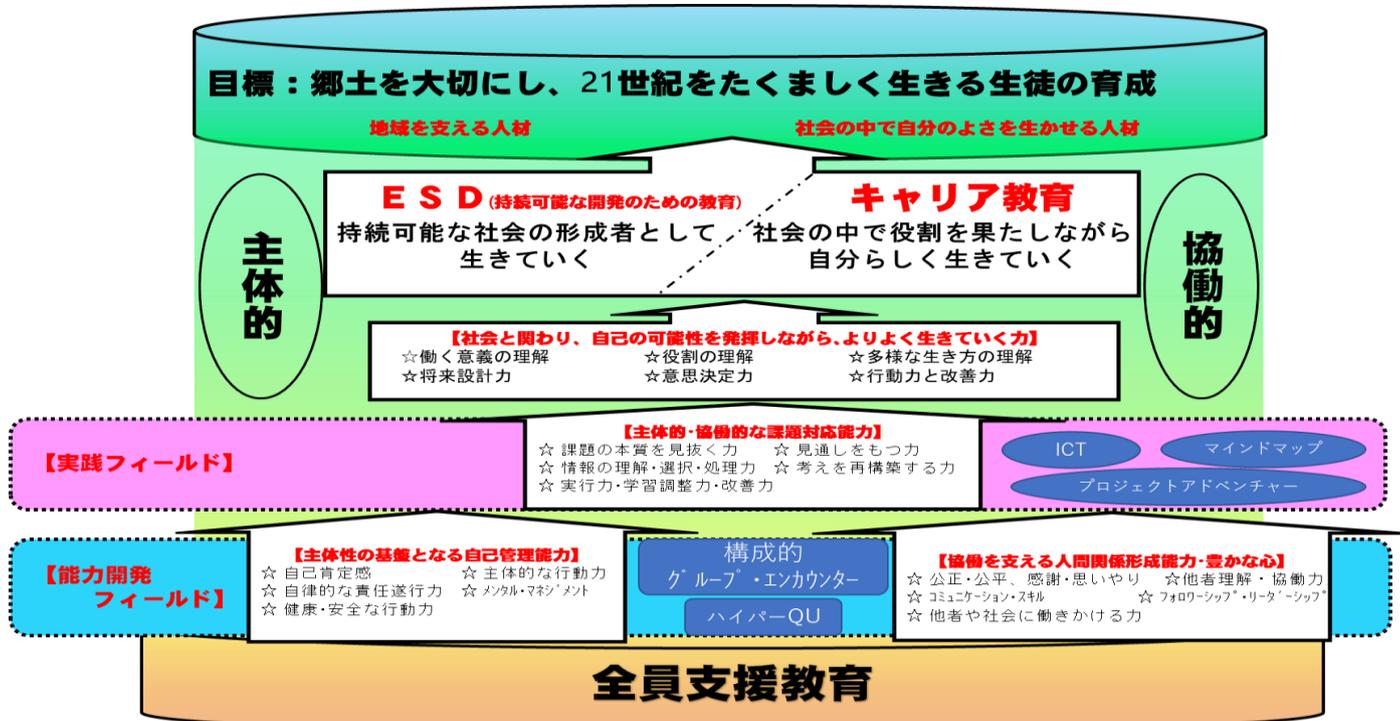


令和4年4月18日発行 奥多摩町立奥多摩中学校

教育目標「郷土を大切にし、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」に向けて

校長 西村 元一

4月8日の入学式では、18名の新生を迎え、全校生徒57名でのスタートを切りました。新たなスタートに当たり、教育目標達成に向けた本校の教育について触れたいと思います。



教育目標「郷土を大切にし、21世紀をたくましく生きる生徒の育成」に向け、「地域を支える人材」「社会の中で自分のよさを生かせる人材」の育成を目指します。そのために、全員支援教育を基盤とし、ESD(持続可能な開発のための教育)とキャリア教育を推進します。

ESD 及びキャリア教育で生徒に身に付けさせたい能力・態度として、①「主体性の基盤となる自己管理能力」と②「協働を支える人間関係形成能力」、そして③「主体的・協働的な課題対応能力」の育成を目指します。①②については、道徳科、学級活動、その他さまざまな場面において、自分の気持ちをコントロールするスキル及び他者の気持ちを考えながら自分の気持ちを伝えるスキルなどを育てます。それらのスキルを、各教科の授業、総合的な学習の時間、生徒会活動及び各種行事などの中で主体的・協働的な活動を通して活用させながら、課題対応の実践力を高めます。

目標達成のためには、地域・保護者の皆様のお力をお借りする場面もあるかと思ひます。今後とも、奥多摩中学校の教育にご理解・ご協力をお願いします。